

舌がん



徳島大学病院
口腔内科講師

青田 桂子氏
あおた けいこ

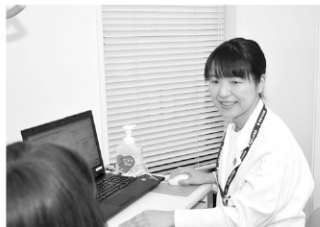
舌は「話す」

「食べる」「味を感

じる」など豊かな生活を送るのに重要な器官です。口腔がんの中で最も発生頻度が高いのが舌がんです。好発年齢は中年ですが、二十〜三十代の若い人にも発症します。

舌がんの発生を高めるリスク因子は「タバコ」「お酒」「口腔不衛生」です。タバコを吸う人は吸わない人の約3倍、飲酒習慣がある人はない人の約2倍、発生頻度が高くなるという報告があります。また、虫歯や不適合なかぶせ・入れ歯の放置は舌を刺激することになり、舌がんの発生リスクを高めます。

鏡でセルフチェックを行い、舌にしこりや二週間以上治らない口内炎がある場合は診察を受けましょう。かかりつけ歯科医を持ち、口腔を健康に保つことが健康長寿の秘訣です。



徳島大学病院がん相談支援センター
がんの相談はこちらへ 相談窓口 Tel.088-633-9438

がん診療連携センター
<http://www.tokudai-ganrenkei.jp>



徳島がん対策センター
<http://www.toku-gantaisaku.jp>